

## PRESS RELEASE

2021年6月24日

アラガン・ジャパン株式会社

アラガン・ジャパン、全国の男女約9,000人を対象に、コロナ禍でのお顔の悩みに関する調査を実施～最も多い悩みは「フェイスラインのたるみ・崩れ」～

- コロナ禍で、約5割の人が「写真が老けて見えた」、約3割の人が「疲れて見える」と回答
- 最も多いお顔の悩みは「フェイスラインのたるみ・崩れ」、次いで「ほうれい線」
- お顔の骨や皮下脂肪の減少がシワ・たるみの原因のひとつ

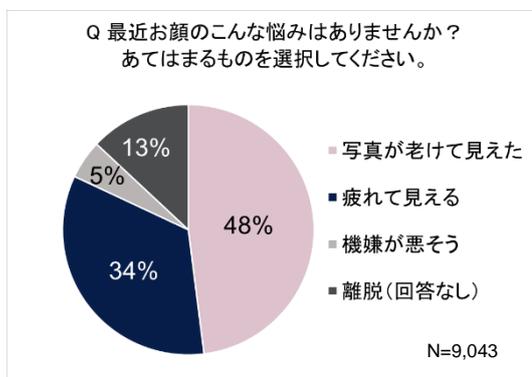
アラガン・ジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:スザナ・ムルテイラ)は、LINE公式アカウント「美容ラボ@LINEヘルスケア」を通じて、コロナ禍でのお顔の悩みに関する調査を実施しました。本調査は、2020年9月25日～2021年4月30日に、全国の男女約9,000人を対象に、チャットボットによるアンケート形式で実施しました。

調査結果の概要は以下の通りです。

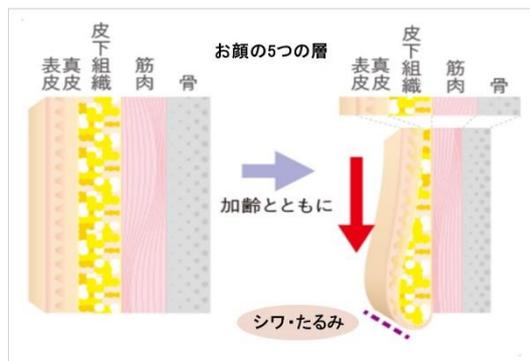
■調査対象者全体の約5割(48%)の人が「写真が老けて見えた」、約3割(34%)の人が「疲れて見える」と感じている

■「写真が老けて見えた」と感じた理由について、最も多かった回答は「フェイスラインのたるみ・崩れ((44%)」、次いで多かった回答は「ほうれい線(42%)」

■「疲れて見える」と感じた理由について、最も多かった回答は「フェイスラインのたるみ・崩れ((57%)」



本調査結果について、医療法人社団 喜美会 自由が丘クリニック 理事長 古山 登隆 先生は、以下のように述べています。



「私たちの顔は、骨・筋肉・皮下脂肪(皮下組織)・真皮(皮膚)・表皮(皮膚)の5つの層から成り立っています。多くの人が、皮膚だけに着目しがちですが、実はシワやたるみには、顔の骨や皮下脂肪の変化が大きく関わっています。フェイスラインのたるみは、皮下脂肪のボリュームが減少し、皮膚が垂れ下がることで発生します。また、ほうれい線は、土台となる顔の骨が減り、皮下脂肪が垂れ下がることで発生します。

つまり、フェイスラインのたるみやほうれい線は、お顔の奥にある骨や皮下脂肪の減少が、根本の原因であると言えます。コロナ禍でマスクを着けている時間が長くなり、マスクをしていないときに比べて顔の筋肉、表情筋の活動量が落ち、衰えたことで、以前は筋肉でカバーされていた骨や皮下脂肪の減少によるフェイスラインのたるみやほうれい線がより顕著に表れるようになり、今回の調査結果につながったといえるでしょう。



化粧品によるスキンケアやレーザー治療は表皮の治療には適していますが、骨や皮下脂肪の萎縮を補うことはできません。ヒアルロン酸注入治療は、このように加齢とともに減少してしまった骨や皮下脂肪を補うことで、シワやたるみを改善する治療法の一つであると言えます。最近では、フェイスラインや顎の治療に適した新たなヒアルロン酸注入材も登場し、お顔の様々なシワやたるみの悩みに応じて適切なヒアルロン酸を選び、治療を行うことが可能になっています。」

アラガン・ジャパンは、美容医療において厚生労働省の製造販売承認を得た製品を患者さんにお届けすることで、科学的な根拠に基づいた美容医療の発展に貢献してまいります。特にヒアルロン酸注入治療においては、患者さんのニーズにあった幅広いラインアップの製品を提供することで、「自分らしくありたい」と願う患者さんを応援しています。これからも、当社は患者さん一人ひとりの「健康」と「生涯」に寄り添い、人生の可能性を最大限に実現することをサポートする「ヘルスケア・パートナー・カンパニー」を目指してまいります。

## 「コロナ禍でのお顔の悩みに関する調査」

### 【調査概要】

対象: LINE ヘルスケア株式会社が運営している「美容ラボ@LINE ヘルスケア」アカウント上  
9,043 人

地域: 全国

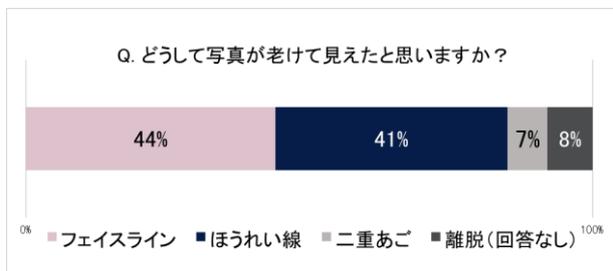
方法: LINE ヘルスケア株式会社が運営している LINE 公式アカウント「美容ラボ@LINE ヘルスケア」上でアンケート調査を実施

期間: 2020 年 9 月 25 日～2021 年 4 月 30 日

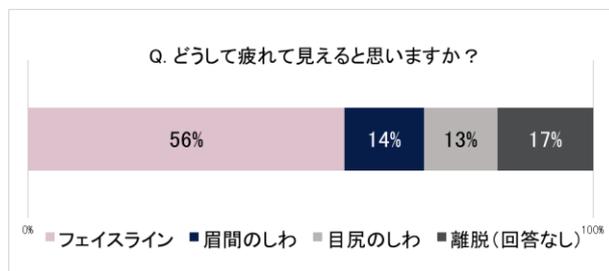
注)本調査レポートの百分率表示は小数点以下で四捨五入の丸め計算を行なっております。

## 【調査詳細】

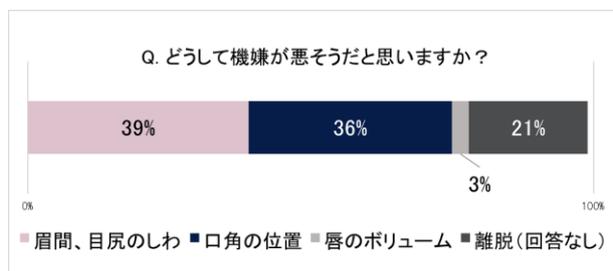
### ■写真が老けて見えたと思う理由



### ■疲れて見えると思う理由



### ■機嫌が悪そうだと思う理由



## アラガン・ジャパン株式会社について

アラガン・ジャパン株式会社は、アッヴィグループのアラガン・エステティックスとして、先進の美容医療を牽引する製品およびブランドを開発・製造し、販売しています。私たちの美容医療領域は、ボツリナス治療やヒアルロン酸注入治療、部分痩せ治療、乳房再建関連製品等を中心に多岐に渡っています。

私たちは、イノベーション、教育、優れたサービスを一貫して、顧客の皆様のニーズに沿って提供することを目指しています。

## 本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先:

アラガン・ジャパン株式会社 広報代理

株式会社ストーリーズ・オン・ヘルスケア 岩谷

TEL: 080-3343-2664

Email: [allergan@storieson.co.jp](mailto:allergan@storieson.co.jp)

## 【参考資料】

### 「あごやフェイスラインに関する調査」

アラガン・ジャパンが2020年12月に行った「あごやフェイスラインに関する調査」によると、約6割の女性がフェイスラインの「たるみ」に悩んでいることが明らかになりました。また、フェイスラインの悩みについて年代別に見ると、40代以上の女性は20・30代の女性に比べ「フェイスラインのたるみ」に関して悩んでいる割合が高く全体の約8割(76%)、一方で20・30代の女性は40代以上の女性に比べ「フェイスラインの輪郭がぼやけて見える」と答えた割合が高く、全体の約3割(35%)でした。

## 【調査概要】

対象:20~65歳 女性 615名

地域:全国

方法:インターネットによるアンケート調査

期間:2020年11月6日(金)~11月9日(月)

注)本調査レポートの百分率表示は小数点以下で四捨五入の丸め計算を行なっております。

## 【調査結果(一部抜粋)】

### ■フェイスラインに関して気になる/悩んでいるもの

- 特に気になる・悩んでいるもの(すべて) (n=615)
- 20・30代(すべて) (n=369)
- 40代以上(すべて) (n=246)

